

天沼中だより

令和3年2月26日
杉並区立天沼中学校

<http://www.suginami-school.ed.jp/amanumachu/>

令和2年度 教育調査結果の分析と考察

11月～12月に実施した教育調査アンケートは、生徒93%、保護者92.4%の回収率でした。ご協力ありがとうございました。いただきました調査の結果を分析し、考察を加えました。分析、考察の全文は学校関係者評価委員会、学校運営協議会（CS）にて報告しました。それぞれのお立場からご意見をいただき、次年度の学校経営に生かしてまいります。後日、CSだより等にて自由意見も踏まえた評価結果をお知らせいただくことになっております。以下、校内での集計結果と分析・考察を抜粋してのご報告をいたします。

1 肯定率 否定率

〈肯定率平均〉 生徒52%（55%） 保護者61%（63%）

〈否定率平均〉 生徒19%（17.2%） 保護者7.2%（7.6%） ※（ ）内は昨年度

昨年度に比べて肯定率が低下、一因はコロナ禍により予定していた教育活動が中止、延期となった中の調査だったということが考えられる。生徒の否定率の増加も同様のことが言える。今年度、新たに肯定率が50%を切った項目は以下のとおり。いずれも例年通りの取組ができなかつた項目である。

生徒	「総合的な学習」「キャリア教育」「伝統文化」「フレンドシップスクール」「ボランティア」
保護者	「総合的な学習」「保護者会」「異学年交流」

2 生徒アンケート結果

- ◆ 「健康な生活」(+16.8%) 感染予防のために生徒一人ひとりの関心が高まり、感染予防意識を高めた結果と考えられる。
- ◆ 「学級経営」(+8%) 感染予防に向けて各クラスが協力したことが影響したのではないか。
- ◆ 「部活動」(+8.4%) 活動できなかった期間を経て、部活動の意義を再認識した結果、8.4%の肯定率の上昇となったと考える。
- ◆ 「施設管理」(+8.6%) 夏にトイレの改修工事を終えたことや、感染予防のため、清潔感を保つための環境整備が欠かせなかった事情もあり、この数字につながったと考えられる。
- ◆ 「言葉の教育」(+8.2%) 昨年度の数値が極端に低下していたため、例年に戻ったと考えている。
- ◆ 「キャリア教育」(-25.8%) 「伝統文化教育」(-22.3%) 「フレンドシップスクール」(-23.8%) 「異学年交流」(-20.2%) 実施できなかった項目については、肯定率が大幅に低下した。事情は分かっていてもできなかったという思いが強く、それだけ期待感が強かったことも伺える。「伝統文化教育」の華道、茶道、書道の体験についてはアンケート時点以降に延期して実施している。
- ◆ 「いじめ・不登校対応」(-7.8%) 本校の生活指導においては一番といっていいほど力を注いできた事項であるが、生徒に認められているわけではない。不登校生徒やいじめの問題は個の情報であり、おやけにしがたいところはあるが、学校が放置していると思われているとしたならば生徒への心理的影響が大きいため、共有できる情報は共有して安心感が生まれるように考える必要がある。

3 保護者アンケート結果

- ◆ 「施設管理」(+20.4%) 長年の要望事項であったトイレの改修が済み、感染予防のための施設環境を

整備したことが数値の上昇につながったと考える。

- ◆「安心・安全な学校」(+6.7%)「健康教育」(+9.4%)「よりよく生きる教育」(+4.9%)「命の教育」(+2.8%)などは、感染予防を通じて日常の安全と命の大切さについて考える時間が多かった結果と受け止められる。すべてが70%以上の肯定率であったことからも、これら一連の命に関わる教育は高く維持発展していきたい。
- ◆「小中一貫教育」(-25.3%)「学校行事」(-17.3%)「保護者会開催」(-22%)「保護者会の在り方」(-14.3%)「ボランティア活動」(-12.4%)「異学年交流」(-13.3%)はすべて実施できなかった項目である。平常どおりに学校生活が戻れば回復する項目であるかもしれないが、このような状況が継続したとしても、何らかの形で目的に近づけるよう創意工夫していきたい。
- ◆「安全指導」(-14.2%) コロナによる休校中は指導・訓練はできなかつたものの、学校再開後は感染対策をしながらも通常通りに指導を行ってきたため、学校の取組みが保護者に十分に伝わっていないか、あるいは新しく「安全指導」の在り方を考え直す必要があるか、今後検討を加える。
- ◆「学校からの連絡」(-0.6%) 数値としては77.3%と比較的高い。休校中でも絶やさずPTAメール等で家庭と連絡をとってきたことが評価されたと思われる。

4 無回答の増加

- ◆生徒に関して無回答（わからない）が約10%以上あった項目は、肯定率が著しく下がった項目と関連が深い。
- ◆保護者の無回答は二通り考えられる。一つは、コロナ禍の中で十分実施できなかつたもの、一つは学校での取組みが十分伝わっていないと見られるものがある。前述の、実施できなかつた項目以外に、「道徳教育」「教育相談」については学校再開後は通常通り進めている教育活動であり、内容や活動そのものが十分伝わっていないと考えられる。

5 まとめ

日常が取り戻せないまま今年度が終わる。その中でアンケートを実施する意味がどこにあるのか、考えた末、実施できなかつた項目もあえて変更せずに調査したため、予想通りの結果となつた。それは、保護者の方々、生徒の皆さんとともに、真剣に調査に向かっていただいた証でもあり、そのまま学校への期待とも受け止められる。学校の日常がいかに大切かを改めて知らせる結果ととらえ、それをわれわれに示した意味は大きい。

「いじめ・不登校対応」については、教員の肯定率が100%でありながら、生徒・保護者の理解が低かつた。深刻ないじめは生じていないという認識は実態にそつたものであろうか。不登校生徒も、少なからず学習ができる環境につなぐことができていると考えているが、そのことは伝えることが難しく、教員の大きなストレスにつながっている。ただ、「いのちの教育」のように、地道に行うことで理解が深まってきたことを自信になお一層努力をしていきたい。

新型コロナウイルスの感染により失ったものは計り知れないが、新たに生じた「よさ」も見出せる。その一つが「考える」ということである。この状況に置いて、生徒も保護者の方々も、そして教員も、深く考えた。それは通常では行き着くことのない場所まで追い込まれたからである。もがきながらも一つずつ知恵を出し合って明かりに見える方向へと進んできた日々は、一つの財産ではある。非日常の生活が今後継続しても、この「考える」力を生かして充実した学校生活を創造していきたい。

コロナの収束とともに成長した学校がお見せできるように教職員一同努めていく。

教育調査評価結果 令和2年12月実施

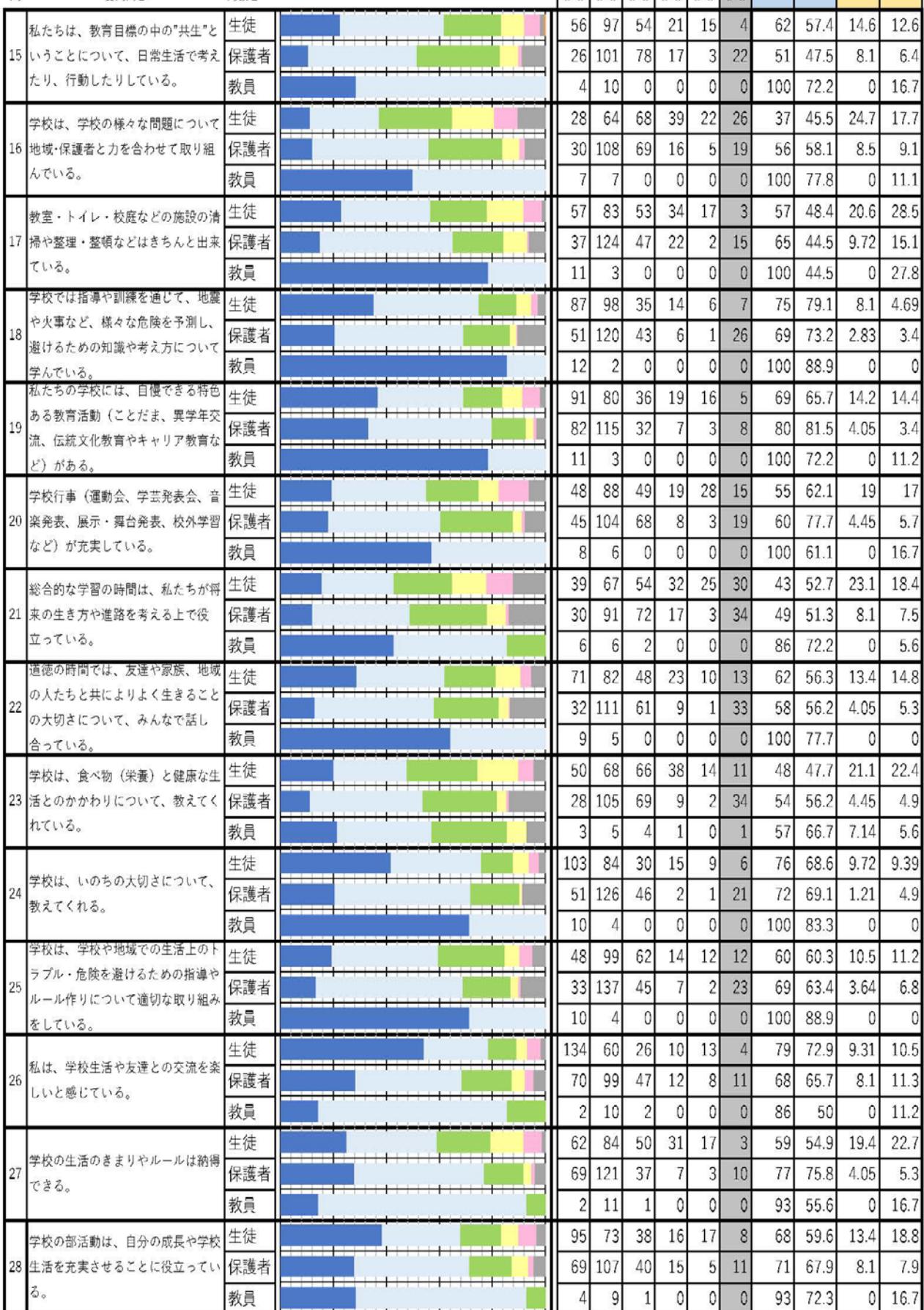
杉並区立天沼中学校

問	質問内容	対象者	A そう思う	B やや そう思う	C どちらでも ない	D あまり 思わない	E 思わない	無 回答者 わからない	A (人)	B (人)	C (人)	D (人)	E (人)	無 (人)	R2の 肯定率 A+B	R1の 肯定率 A+B	R2の 否定率 D+E	R1の 否定率 D+E
			0%	20%	40%	60%	80%	100%										
1	学校は、クラスのみんなが分かり合 い、協力し合えるようにしてくれて いる。	生徒							81	98	43	17	5	3	72	65	8.91	11.6
		保護者							49	132	43	14	3	6	73	76.2	6.88	7.5
2	授業では、自分の得意なところを伸 ばしたり、苦手なところを少なくし たりできるように個別に教えてくれ ている。	生徒							32	82	68	40	21	4	46	40.8	24.7	25.6
3	校長先生や先生方は、私たちに学校 の教育目標（自主・自律・共生）に ついて、話をしたり考えさせたりし ている。	生徒							60	88	49	36	8	6	60	63.2	17.8	10.1
4	学校は、授業で自分ができたことを ほめてくれたり、間違えたところを 教えてくれたりしている。	生徒							58	95	53	22	12	7	62	62.1	13.8	11.2
5	学校の授業によって、分かることや できることが増えている。	生徒							102	90	34	11	5	5	78	74	6.48	5.05
		保護者							43	125	56	11	5	7	68	65.3	6.48	9.1
		教員							6	8	0	0	0	0	100	77.8	0	5.6
6	学校は、今の授業で学習してい るところが、前の授業や今後の授業とど のようにつながっているか、教えてく れている。	生徒							56	90	55	30	9	7	59	62.1	15.8	9.03
7	学校は、授業において電子黒板やデ ジタル教科書等を活用している。	生徒							144	67	16	11	1	8	85	83.8	4.86	5.05
		保護者							33	108	55	20	3	28	57	54.7	9.31	7.5
		教員							8	6	0	0	0	0	100	88.9	0	5.6
8	学校は、健康な生活を送るために必 要なことを教えてくれている。	生徒							67	110	38	19	10	3	72	55.2	11.7	17
		保護者							47	141	40	11	2	6	76	66.8	5.26	6.4
9	学校は、異なる考え方や気持ちを持つ 人の交流を大切にしている。	生徒							58	90	55	27	6	11	60	58.1	13.4	11.9
		保護者							52	129	45	11	2	8	73	68.7	5.26	5.3
10	特別支援学級や自校外の障がいのあ る同じ年くらいの子どもと交流する 機会がある。	生徒							10	9	24	40	115	49	8	12.6	62.8	57.8
		保護者							21	84	77	23	6	36	43	46.4	11.7	9.8
		教員							13	1	0	0	0	0	100	83.3	0	5.6
11	学校は、地域の人たちと協力しなが ら、授業や学校行事をよりよくして くれている。	生徒							51	77	59	36	16	8	52	58.5	21.1	14.4
		保護者							40	122	55	14	3	13	66	72.1	6.88	5.7
		教員							7	6	0	1	0	0	93	83.3	7.14	5.6
12	学校はいじめや不登校などに対し て、未然防止、早期発見、解決に向 けて、協力して取り組んでいる。	生徒							30	52	62	53	37	13	33	40.8	36.4	31.4
		保護者							30	105	63	20	2	27	55	50.9	8.91	11.3
		教員							10	4	0	0	0	0	100	83.4	0	11.1
13	私たちは、教育目標の中の“自主”と いうことについて、日常生活で考え たり、行動したりしている。	生徒							42	101	59	25	16	4	58	56.7	16.6	13.4
		保護者							93	93	34	9	5	13	75	74.7	5.67	3.8
14	私たちは、教育目標の中の“自律”という ことについて、日常生活で考えたり、行 動したりしている。	生徒							42	94	61	30	16	4	55	56	18.6	13.7
		保護者							17	85	88	32	15	10	41	35.8	19	17.4
		教員							7	6	1	0	0	0	93	77.7	0	0

教育調査評価結果 令和2年12月実施

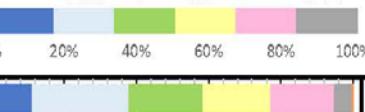
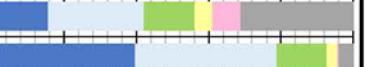
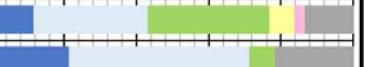
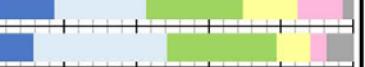
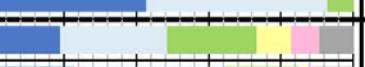
杉並区立天沼中学校

問 質問内容 対象者

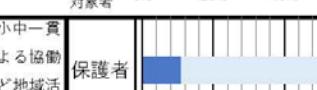


教育調査評価結果 令和2年12月実施

杉並区立天沼中学校

問	質問内容	対象者	A B C D E 無						A B C D E 無					
			そう思う やや そう思う	どちらでも ない	あまり 思わない	思わない	無回答 わからない	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	R2の 肯定率 A+B	R1の 肯定率 A+B
29	学校は、いじめや不登校を解決するため、いろいろな指導をしている。	生徒		28	66	51	46	44	12	38	41.9	36.4	28.9	
		保護者		28	95	73	17	3	31	50	50.2	8.1	7.9	
		教員		9	5	0	0	0	0	100	83.3	0	5.6	
30	職業学習、職場体験、上級学校訪問などのキャリア学習は自分の生き方や将来を考えるのに役立っている。	生徒		38	52	36	10	23	88	36	62.8	13.4	15.5	
		保護者		45	90	70	10	4	28	55	76.6	5.67	3.8	
		教員		7	3	1	0	0	3	71	88.9	0	0	
31	書道・華道・茶道、和楽器（太鼓・筝・三味線）、落語などの体験授業は日本の伝統文化理解に役立っている。	生徒		39	65	35	12	19	77	42	64.3	12.6	11.2	
		保護者		98	97	34	7	1	10	79	84.5	3.24	1.5	
		教員		10	4	0	0	0	0	100	94.5	0	0	
32	私は、学校からの配布物（学校だよりやお知らせ等）はきちんと保護者に渡している。	生徒		95	76	27	30	13	6	69	70.4	17.4	14.8	
		保護者		101	90	32	9	5	10	77	77.7	5.67	5.3	
		教員		9	4	1	0	0	0	93	88.9	0	0	
33	私は、保護者に学校の様子をよく話している。	生徒		84	60	40	37	22	4	58	58.8	23.9	21.7	
		保護者		29	78	83	17	7	33	43	57.4	9.72	9.4	
		教員		3	7	1	0	0	3	71	77.7	0	0	
34	行事などの機会にコミュニケーションゲーム等を取り入れた学級づくりをしている。これは良い友だち関係をつくるのに役立っている。	生徒		53	52	43	18	21	60	43	66.8	15.8	13	
		保護者		46	91	66	13	2	29	55	63.8	6.07	5.3	
		教員		10	4	0	0	0	0	100	88.9	0	0	
35	学校は、授業等を通して私たちの学力が確実に身につくよう指導している。	生徒		59	93	62	16	10	7	62	59.2	10.5	9.39	
		保護者		25	102	72	26	6	16	51	48.3	13	14.3	
		教員		11	3	0	0	0	0	100	77.8	0	0	
36	学校は、私たちの興味関心を引き出し、よく分かるように工夫した教科指導を行なっている。	生徒		43	87	68	29	15	5	53	53.4	17.8	13.7	
		保護者		27	88	76	23	5	28	47	44.2	11.3	12.1	
		教員		10	4	0	0	0	0	100	83.4	0	0	
37	友だちや先生、家族のことなどで悩んだとき、学校に、相談できる大人（先生、カウンセラー、スクールソーシャルワーカー、地域の人など）	生徒		52	57	50	36	42	10	44	45.8	31.6	23.8	
		保護者		33	90	76	13	4	31	50	52.1	6.88	7.5	
		教員		9	5	0	0	0	0	100	88.9	0	0	
38	学校は、私たちの学習面の良いところを認めてくれ、学習意欲が湧くような評価・評定をしている。	生徒		43	63	66	37	31	7	43	46.6	27.5	23.5	
		保護者		29	91	75	23	11	18	49	49.4	13.8	14.3	
		教員		6	8	0	0	0	0	100	72.2	0	5.6	
39	ことだま百選や英語のKOTODAMAなどの言葉の教育は言語への意欲を高めるのに役立っている。	生徒		52	79	50	34	28	4	53	44.8	25.1	25.3	
		保護者		43	116	57	9	4	18	64	59.6	5.26	3.8	
		教員		6	7	1	0	0	0	93	72.3	0	5.6	
40	学校は、私たちがボランティア活動に参加し、社会体験活動をする機会をつくれてくれる。これらによって自分のボランティア意識が高まっていく。	生徒		47	73	61	24	19	23	49	51.3	17.4	19.5	
		保護者		57	103	50	7	5	25	65	75.8	4.86	4.2	
		教員		4	8	1	0	0	1	86	77.8	0	11.1	
41	多くの場面で1～3年生が一緒に活動する異学年交流により先輩後輩達と交流し、学校生活がより幅広くなっている。	生徒		29	26	48	39	46	59	22	42.2	34.4	26	
		保護者		27	82	71	18	7	42	44	57.7	10.1	7.2	
		教員		1	4	4	1	0	4	36	55.6	7.14	22.2	
42	学校は新型コロナウイルス感染予防のための対策（消毒・手洗い・換気・三密回避など）の指導を実施している。	生徒		116	75	29	10	4	13	77		5.67		
		保護者		86	108	31	7	4	11	79		4.45		
		教員		9	5	0	0	0	0	100		0		

教育調査評価結果 令和2年12月実施
杉並区立天沼中学校

問	質問内容	対象者	A そう思う B ややそう思う C どちらでもない D あまり思わない E 思わない 無回答						(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	R2の肯定率 A+B	R1の肯定率 A+B	R2の否定率 D+E	R1の否定率 D+E	
			0%	20%	40%	60%	80%	100%											
保2	連携する小・中学校による小中一貫教育（小・中学校の教員による協働授業、児童・生徒の交流など地域活動への参加等）が進められている。	保護者		27	100	66	15	4	35	51	77	7.69	5.3						
保3	学校は、自校の教育活動に関する評価結果とそれに基づく改善策等の情報を提供している。	保護者		37	106	63	13	5	23	58	60.8	7.29	8.7						
保4	学校では、子どもが安心・安全な学校生活を送ることができる学級づくりを行っている。	保護者		51	135	39	7	2	13	75	68.3	3.64	6						
保6	学校は、子どもの学習状況を適正に評価している。	保護者		43	125	56	11	5	7	68	65.3	6.48	9.1						
教1	児童・生徒や保護者から障害等への合理的配慮が求められた場合、校内委員会で検討し、実施に努めている。	教員		13	1	0	0	0	0	100	77.8	0	5.6						
教2	学校の教育目標や目指す児童・生徒像、特色ある教育活動や教育課程などについて、学校評議会や学校運営協議会、学校関係者評議委員会で協議して、教科間のつながりを踏まえた教育活動に取り組むとともに、計画的な評価・改善を行っている。	教員		8	4	0	0	0	2	86	83.3	0	0						
教3	カリキュラム・マネジメントの視点に立って、教科間のつながりを踏まえた教育活動に取り組むとともに、計画的な評価・改善を行っている。	教員		4	7	2	1	0	0	79	77.8	7.14	11.2						
教4	各教科等において、義務教育9年間を見据えた一貫性のある学習指導計画を作成している。	教員		5	8	1	0	0	0	93	77.8	0	11.2						
教6	授業では、一斉学習、子どもたち主体の個別学習と協働学習を組み合せている。	教員		4	10	0	0	0	0	100	88.9	0	0						
教8	学習指導要領に基づく各教科等の目標や内容の系統性を理解し、学年や小・中学校の接続を踏まえた授業を行っている。	教員		9	4	1	0	0	0	93	72.3	0	0						
教9	連携する小・中学校の教員が協力して各教科等の学習指導に取り組んでいる。	教員		3	5	3	1	0	2	57	88.9	7.14	5.6						
教13	特別な支援が必要な児童・生徒に対して、個別の教育支援計画に基づく個別指導計画を作成・実施している。	教員		13	1	0	0	0	0	100	83.3	0	5.6						

さて、天中生の体力は???

3月～5月の休校期間で危ぶまれた体力低下。2学期に実施された、体力・運動能力調査では、全国の平均、都の平均と比べて全学年低い水準という数値でした。授業を中心に今後も体力向上に取り組んでいきます。

※（ ）内は全国平均を示しています。コメントは都の調査結果に示されたものを転記しています。

- 1年男子 31.0点(35.5点) 特にハンドボール投げは16.0m(18.7m) 身体全体を大きく使うようにしよう。
- 1年女子 41.4点(45.4点) 特に握力は19.6kg(21.9kg) タオル絞りなど握る運動に日常的に取り組もう。
- 2年男子 37.7点(44.7点) 特に上体起こしは23.1回(28.4回) 体幹を鍛えよう。
- 2年女子 41.2点(51.4点) 特に反復横跳びは42.2回(47.7回) 素早い反応が必要な運動を取り入れよう。
- 3年男子 45.2点(51.6点) 特に持久走は401.8秒(365.1秒) 粘り強く続ける運動に取り組もう。
- 3年女子 41.8点(54.0点) 特に握力は21.0kg(25.5kg) タオル絞りなど握る運動に日常的に取り組もう。



天沼中の給食

1月 29日 キンメダイのかぶら蒸し



1月、2月、水産庁の漁業応援事業や、東京都教育庁の和牛肉・食育推進事業などで、学校給食に「キンメダイ」「A5ランクの黒毛和牛」の提供がありました。今回は給食の話題をお届けします。



2月 9日 ビーフストロガノフ 2月 2日 節分献立



2月 19日 勝つ丼・いい予感



保温できる食缶



キンメダイ、黒毛和牛という、給食室では扱うことのない食材でしたので、栄養士さんや調理師の皆さんで工夫をこらしてくださいました。キンメダイといえば「煮付け」と思われる人が多いようですが、給食調理室の施設柄、「煮崩れ」した場合の配膳の難しさもあり、1個1個を「蒸す」調理にしました。黒毛和牛の柔らかい上品な脂の乗った味わいも、煮込みすぎない調理で十分に味わうことができました。

節分には、大豆入りじゃこごはんが提供されました。節分に欠かせない「大豆」と「イワシ」。生徒にはあまり人気がないので、大豆に味付けをして炊き込んだり、イワシを生徒の好きな揚げ物にして甘辛味にしたり、苦心しています。栄養価の高い「佃の肉」である大豆はその他の給食にも、カレールーに入れたり、揚げ煮にしたり、工夫してたくさん活用しています。

2月19日、入試応援献立の「かつ丼と伊予柑」には、作ってくださる方々の応援の気持ちがこめられていました。

2月後半、米飯の保温食缶が導入されました。給食室の仕様や冷たい廊下でワゴンを待機させることなど、悪条件が重なって食缶が回りから冷えてしまっていました。これからはホカホカのご飯が食べられます。

前を向いて黙って食べる、という食事風景の中、少しでも味わいの豊かな食であるよう、努力してまいります。



昔も今も人気
きなこ揚げパン、
キムチチャーハン



同窓会 から

天沼中第一期卒業生（昭和22年入学）の皆さんに、文集を作成されました。学校にも寄贈していただき、教員で回覧させていただきました。

戦後の混乱の中の新しい教育をどう受け止めておられたか、文集の中に切実に表現されています。社会科の授業の中で「歴史」を教えている中学校ですが、生きた歴史の史料として宝物のような教材です。（本校社会科教員談）

お届けくださいました濱川様、中田様、ありがとうございました。



目次	
（表紙）	1
（本文）	2
（1）天沼中学校建物	2
（2）卒業式典	4
（3）天沼中学校の紹介	6
（4）天沼中学校の歴史	10
（5）天沼中学校の活動	11
（6）天沼中学校の文化	12
（7）天沼中学校の運動	13
（8）天沼中学校	14
（本文）	15
（参考）	16
（付録）	17
（新校舎完成）	18
（新校舎完成）	19
（新校舎完成）	20
（新校舎完成）	21

目次	
（表紙）	1
（本文）	2
（参考）	3
（付録）	4
（新校舎完成）	5
（新校舎完成）	6
（新校舎完成）	7
（新校舎完成）	8
（新校舎完成）	9
（新校舎完成）	10
（新校舎完成）	11
（新校舎完成）	12
（新校舎完成）	13
（新校舎完成）	14
（新校舎完成）	15
（新校舎完成）	16
（新校舎完成）	17
（新校舎完成）	18
（新校舎完成）	19
（新校舎完成）	20
（新校舎完成）	21

3月の天沼中学校は□□□

本日、3月の行事予定をお配りしました。休止していた部活動、新型コロナウイルス感染拡大防止の措置等で延期した行事や、最大の行事である卒業式については、現時点では以下の内容にて実施することにいたします。ご理解ご協力のほどお願い申し上げます。

3月1日（月） 学年末考査明け、制限付きですが一部の部活動を再開いたします。 感染拡大防止のため、部活動の種類によっては活動休止を継続するものもあります。各顧問から生徒に連絡をいたしますが、参加は任意といたします。

- 【制限内容】
- ・フィジカルディスタンスを保てる活動の工夫をする。（特に室内）
 - ・放課後1時間以内に終了する。
 - ・土日祝日は実施しない。
 - ・基本、体育館、校庭はそれぞれ1部活で使用する。

3月 4日（木）

2、3時間め、オリンピック・パラリンピック教育の一環として、オリンピアンである高谷惣亮選手（レスリング）をお招きしての講演を実施します。3年生が体育館でお話を聞く間、1、2年生はリモートで教室で聴講します。講演終了後、高谷選手が教室を回り、直接1、2年生と写真撮影などを行います。

3月 6日（土） 5時間授業を実施します。公開は行いません。

3月 8日（月） 5時間め、3年セーフティ教室（薬物乱用防止教室）

3月 9日（火） 2学年校外学習（東京まち散歩） 3学年お祝い給食
1学年伝統文化教育（華道・茶道） **3学年保護者会は中止とします。**

3月 11日（木） 1学年伝統文化教育（華道・茶道） **1、2学年保護者会は中止とします。**

3月 12日（金） 3学年修学旅行出発（京都・奈良）

3月 15日（月） 3学年振替休業日
1学年自主活動レクリエーション
学芸発表会展示の部開始

3月 17日（水） 卒業式予行練習

3月 19日（金） 音楽発表会②～④

4部構成で全校生徒を3分割し、入替え制で実施します。
入場は生徒優先とするため、保護者の参観はご遠慮いただくことにいたしました。各クラス自由曲を発表し、この日までに練習した成果やこれまでの努力をお互いに認め合う発表にします。

【学芸発表会展示】

保護者の方の見学は

15日(月)、16日(火)、18日(木)の

16:00～16:50に限らせていただきます。

音楽発表会時程（予定）

第一部 1～3年A組

第二部 1～3年B組

第三部 1～3年C組

第四部 学年合唱・閉会式

3月 24日（水） 卒業式

※保護者の方の参加については、現時点では生徒一人につきお二人までとなっています。後日、正式に決まり次第お知らせします。

3月 25日（木） 修了式

☆保護者会、学芸発表会、音楽発表会については、後日正式にお知らせを配布します。

☆3月のスクールカウンセラー在室日は、**2日(火)** **4日(木)** **10日(水)** **11日(木)** **18日(木)**
22日(金) **25日(木)** と変則的ですのでご注意ください。